

# 石川病薬 ニュース

石川県病院薬剤師会会報

令和3年(2021)/3.31 発行 No. 176

## CONTENTS

- ・巻頭言
- ・2020年度日本医療薬学会学会賞受賞者・受賞論文紹介
- ・石川県病院薬剤師会研究奨励賞受賞研究紹介
- ・薬局の窓口から
- ・エキスパートに聞く! ~輝く石川のキラ星~
- ・委員会報告
- ・となりの薬業連携物語
- ・他都道府県病薬会誌寄贈一覧
- ・南船北馬
- ・寄稿
- ・病薬ニュース索引



〔巻頭言〕

～1年を振り返って～ 石川県立中央病院 薬剤部長 虎瀬 和子…… 1

〔2020年度日本医療薬学会学会賞受賞者・受賞論文紹介〕

【JPHCS誌論文賞】

「Multiday corticosteroids in cancer chemotherapy delay the diagnosis of and antimicrobial administration for febrile neutropenia: a double-center retrospective study.」 金沢市立病院 宇冨 裕基…… 3

「Incidence and risk factors of neonatal hypoglycemia after ritodrine therapy in premature labor: a retrospective cohort study」 金沢大学附属病院 下川 頌子…… 7

【Postdoctoral Award】

「希少がん治療における安全性の向上を指向した有害事象管理・個別化薬物療法の開発」 金沢大学附属病院 スタッフ由紀子…… 10

〔石川県病院薬剤師会研究奨励賞受賞研究紹介〕

Efficacy and Safety of Nivolumab in Patients with Advanced Non-small-cell Lung Cancer and Poor Performance Status 小松市民病院 桂 英之、他…… 13

びまん性大細胞型B細胞リンパ腫中枢再発HIV感染症患者に対し自己末梢血幹細胞移植を行い良好な経過を得られた1症例 石川県立中央病院 成田 綾香…… 16

PIMsに対する病棟担当薬剤師主体の処方再構築支援 国家公務員共済組合連合会 北陸病院 田畑 寛明、他…… 20

〔薬局の窓口から (80)〕

『バスキュラーアクセスと感染対策』 浅ノ川総合病院 大門 美和、他…… 24

〔エキスパートに聞く！ ～輝く石川のキラ星～ (18)〕

『日本医薬品情報学会 医薬品情報専門薬剤師』 金沢大学附属病院 板井 進悟…… 28

〔委員会報告〕

がん治療委員会 第36回がん薬物療法セミナー開催報告 恵寿金沢病院 高倉 美穂…… 32  
教育研修委員会 第42回新任薬剤師研修会WEB開催の報告

JCHO金沢病院 西上 潤…… 34

第42回新任薬剤師研修会-WEB開催に参加して 金沢大学附属病院 木山 美佳…… 37

感染制御委員会 第18回石川県感染制御セミナー報告 石川県済生会金沢病院 後藤 義之…… 38

〔となりの薬業連携物語〕 浅ノ川総合病院 田中 智裕…… 40

〔他都道府県病薬会誌寄贈一覧〕 …………… 43

〔南船北馬〕 …………… 44

〔寄稿〕

「古寺との結縁-53」宇多須神社・鞍馬寺 ～毘沙門天由来の社寺～ 院瀬見義弘…… 45

〔病薬ニュース索引 (174号～176号)〕 …………… 49

〔編集後記〕

〔病薬ニュース発行欄〕

※石川県病院薬剤師会ホームページ・会員専用ページのパスワードが新しくなりました。

表紙写真 撮影  
：熊走 尚志

枝垂桜と五十軒長屋

ある寺院内に一際目を引く大きな枝垂桜。あまりの見事さに思わず見入ってしまう程で手入れが行き届いて見事な花を咲かせていた。裏表紙は金沢城内の五十間長屋。このアングルからは当分は見れなくなりました。手前の広場は埋蔵文化財の調査で塀で囲われてしまいました。

## 巻頭言

### ～1年を振り返って～

石川県立中央病院 薬剤部長 虎瀬 和子

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）流行から1年以上が経過し、手指消毒やユニバーサルマスクが一般社会でも当たり前となりました。次々とCOVID-19の検査、治療薬、ワクチンが登場し、治療は日進月歩していますが、まだしばらくはCOVID-19の治療や、その影響による医薬品の出荷調整等に対応する日々が続きそうです。

当院でも早期からCOVID-19入院患者を受け入れており、専用病棟を作るために病棟編成が行われた中、院内で統一した業務手順を用いることの重要性を再認識しました。薬剤関連業務においても応援スタッフが病棟特有のローカルルールがあることを知らないためにヒヤリとする場面が出てきました。あらためて院内手順を周知するとともに、標準的な使いやすい手順とすることを検討しているところです。標準化した業務手順を整備しておくことは、院内で配置異動となった看護師・薬剤師・研修医等にとっても負担が軽減されると思います。転入してきたスタッフ、受け入れるスタッフの双方にとって有用なものにしたいと考えています。

また、COVID-19により感染対策に対する意識が、医療スタッフ・患者さん・社会の幅広い世代で高まりました。廊下に設置してあるスタンドタイプの手指消毒薬の使用量が大幅に増加し、以前は開封後の使用期限を確認していましたが、今では中身が空になっていないか注意を払うようになりました。スタッフによる環境清拭も自主的に積極的に行われているように見受けられます。

人との接触機会を減らすために、多くの学会・研修・会合が集合型からWEB型となり、会場まで向かう移動時間が短縮されました。東京や遠隔地で開催される学会等にもWEB参加出来るため、学習には非常に好都合となりました。第6回石川県立中央病院薬薬連携セミナーも初のWEB方式で開催しました。特別講演の先生に直接お会いすることは出来ませんでした。遠方からも参加の申し込みをいただいたことは嬉しい限りです。

さて、令和3年3月から医療機関・薬局でマイナンバーカードを健康保険証として使用したり、健康保険証の資格確認がオンラインで可能となります。また10月からは本人の同意を取得した上で、マイナ

ンバーカードで薬剤情報を医療機関等が閲覧できるようになります。今まで薬歴を把握するには「お薬手帳」等の紙ベースが主体でしたが、薬歴を確認できる新たなシステムとして期待されます。寄稿時におけるマイナンバーカードを用いた薬剤情報の特徴をいくつか書き出します。

- ・ 薬剤情報の内容は、調剤年月日、処方医療機関識別、処方区分、使用区分、医薬品名、成分名、用法、用量、調剤数量
- ・ 薬剤情報は、医療機関等を受診し、医療機関等から毎月請求される医科・歯科・調剤・DPCレセプト（電子レセプト）から抽出
- ・ 令和3年9月診療分のレセプトから抽出を開始
- ・ 過去3年間分の情報が閲覧可能
- ・ 資格確認の対象となる証類は、健康保険被保険者証、国民健康保険被保険者証、後期高齢者医療被保険者証等の保険者がシステム管理している証類
- ・ 自治体が管理している公費負担・地方単独事業に伴う証類は対象外（3月時点）

公費負担分や直近の薬剤情報では「おくすり手帳」等の確認が必要となります。石川県のマイナンバーカードの普及率は25%前後ですが、これから増加していくと予想されるため、活用出来るよう準備したいと考えます。

患者さんの薬歴が正確に繋がるよう、入退院時の服薬指導や情報提供を「お薬手帳」「情報提供文書」も使いながら行っていきたいと思います。

